

宮城文化服装専門学校 2021年度年度事業報告書

I. 法人の概要

1. 設置する学校：宮城文化服装専門学校

- 学科：(1) 昼間部（2年） ①服装科 ②ファッションビジネス科
③ファッションデザイン科 ④スタイリスト科
(2) 昼間部（1年） ①ファッションスペシャリスト科
(3) 夜間部（2年） ①二部服装科
(4) 夜間部（3年） ①ファッション技術専攻科

II. 2021年度事業の概要

1. 2021年度事業計画に対する実施状況

- (1) 仙台ヘアメイク専門学校との連携
⇒ 卒業式の合同開催、広報活動における連携の実施
- (2) 新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、企業実習の強化
⇒ 株式会社ワールドストアパートナーズとの提携による企業実習の実施
- (3) 服装科を中心とした縫製工場による縫製技術の指導の取り入れ
⇒ 新型コロナウイルスの影響により実施せず
- (4) 寄付行為に定める人材育成を目的とする事業に関する一切
⇒ 滞りなく運営
- (5) 新型コロナウイルスに対応した授業計画の作成
⇒ 滞りなく運営
- (6) オンラインを利用して海外の服飾学校教員による指導の導入
⇒ 東京：高見澤ふみ先生（服飾解剖学）
イギリス：バシルカルダシス先生（卒業制作プレゼンテーション）
の授業をオンラインにて実施

2. 財政計画（投資と抑制）

- (1) 収入に対応した設備投資及び経費の削減
⇒ アパレルCAD、学生用パソコン、ミシン購入
- (3) 学生数増加に伴い、非常勤講師の授業時間を再構成
⇒ 実施
- (4) 令和4年度入学生に関して令和3年度から減少することなく学生募集を実施
⇒ 上記「1. 入学定員、学生数の状況（2022年5月1日現在）」参照

3. 施設設備整備

- (1) 学生数の増加に伴い、アイロン・ミシン・パソコンを増設
⇒ ミシン・パソコンを購入
- (2) 授業用設備としてプロジェクター、スクリーンの購入
⇒ 購入
- (3) 学生数増加に伴い、机・棚等の教室備品を増設
⇒ 机・棚を購入

4. 修繕

- (1) 教育上必要な機材（ミシン・アイロン等）の修繕を行う
⇒ 実施（「3. 施設設備整備」参照）

5. 学生募集活動

- (1) 募集定員維持を目標として効率よく効果的に広報活動を実施
⇒ 新型コロナウイルスの影響で進学ガイダンスの中止や高校進路指導と面会ができない事があったが、実施可能な範囲で仙台ヘアメイク専門学校と連携して実施
- (2) 令和3年度の新入生は、昼間部44名、夜間部4名、進学者数昼間部45名、夜間部3名教室の都合上在籍数増加は困難な為、令和4年度は在籍総数の維持を目標とする。
⇒ 上記「1. 入学定員、学生数の状況（2022年5月1日現在）」参照
- (3) 仙台ヘアメイク専門学校との統合による連携の機会を活かし、入学検討者に広く告知を行う
⇒ (1)と同様
- (4) 夜間部の学生募集の広報を工夫し、学校の特徴と優位性を生かした募集を行う
⇒ 実施
- (5) 2022年度のスタイリスト科の募集は停止。
⇒ 実施

6. 教職員研修

- (1) 学内での研修会を行うと同時に、外部の教員研修会等に参加
⇒ 例年、宮城県洋装協会主催による研修を行っているが
本年度は新型コロナウイルスの影響により注意

7. 奨学金

- (1) 公的奨学金、民間の奨学金等の手続きに関して、学生を支援する
⇒ 実施

8. 2021年度 行事報告

- (1) 別紙資料のとおり

9. 2021年度 就職状況報告

- (1) 別紙資料のとおり

10. 2021年度 検定試験受験状況報告

- (1) 別紙資料のとおり

Ⅲ. 財務概要

- (1) 別紙資料のとおり